坂本民主診療所

2023年5月

事業所通信

〒520-0113　滋賀県大津市坂本６－２５－３０　TEL：077-579-7121　http://shigamin.jp/sakamoto/

前立腺がんの検査（血中PSA検査）と診断について

所長：今村　浩

前立腺がんは日本で近年増えていて、男性のがんの中で最も多くなりました。2019 年に新たに前立腺がんと診断された人は約 9 万 5 千人で、この２０年間で４倍以上になりました。５０歳以上の方が多く、今後も増えると予想されます。前立腺がんの早期発見ために行われる血液検査が「ＰＳＡ検査」です。前立腺がんは、早期の場合は自覚症状がないことが多いですが、尿が出にくい、尿の回数が増えるなどの症状がでることや、進行すると血尿や腰痛がみられることがあります。

前立腺がんは、早期に発見すれば治るがんです。転移のない段階で発見されれば、経過が非常に良いことで知られています。国立がん研究センターの 2020 年まとめでは、ステージ（病期）１～３であれば、５年生存率は 100%でした。

ＰＳＡとは前立腺特異抗原（Prostate Specific Antigen）の略語で、この抗原は、精液の一部を作る男性特有の前立腺で作られるたんぱく質です。多くは精液中に分泌されますが、ごくわずかに血液中にも取り込まれるため、血液中の量を測ることができます。その量は４ナノ・グラム以下が基準で、これを超えると精密検査が必要になります。

ＰＳＡ検査の値で大切なことは、ＰＳＡ検査の数値は、前立腺がんだけでなく、前立腺肥大や前立腺炎でも上がることです。基準を超えたとしても、１０ナノ・グラム程度までなら、がんの発見率は２５%～４０%とされています。数値が上がるほどがんがある可能性は高まりますが、１００%ではありません。検査には不確実性があることも知っておきたいですね。また、発見されたがんの中には、そのまま放置しても生命に影響がないものもあります。それがたまたま見つかることで、無用な不安を覚えたり、過剰な治療を受けたりする恐れもあり、ＰＳＡ検査を受ける際には、こうした利益と不利益を理解しておくことが大切です。

残尿感や頻尿も、加齢のせいだけではないことがあるので、５０歳を過ぎれば一度は検査を受ける値打ちがあります。医師とご相談ください。

●前立腺がん（血中 PSA）検査が無料で受けられます（※）

①大津市国民健康保険の加入者
②年度年齢が 50 歳以上 64 歳以下の男性
③特定健康診査の受検と同時に実施する場合に限る

※①～③すべてに該当する方のみ対象

◆実施期間◆
2023 年 6 月（特定健診受診券到着後）～ 2024 年 1 月 31 日まで
※対象者には特定健診受診券の郵送物で案内（受診券に記載）されます。
※特定健診の予約申し込み（受検）時に、前立腺がん検査希望とお伝えください

お願い

★発熱やかぜ症状がある場合のお願い★

5/8 新型コロナウイルス感染症の５類移行後も、当院では引き続き 37.1 度以上の発熱やかぜ症状がある方の診療・検査は診察室を分けて対応します。発熱・かぜ症状がある場合は予約時および受付時に必ずお申し出ください。また、夜診でのかぜ症状の方の診療を開始しました。発熱外来の診療数には限りがあり、患者様にはたいへんご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

4月の太陽光発電量　**1,244kwh**

CO2 削減量…　６２８Kg
杉の木の年間吸収量　約４５本分